

神大スポーツ

KU

2019年4月1日 (第32号) 月曜日

発行:神奈川大学
協力:神奈川大学体育会本部
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661

JINDAISPORTS

世界で活躍する スケート部スピード部門

ユニバーシアード3位 重弘選手が



第29回ユニバーシアード冬季競技大会(以下ユニバーシアード)シヨートトラック男子1500mにて、重弘選手(人科・3年)が3位に輝き、世界に実力を見せつけた。

重弘選手は、ISUワールドカップシヨートトラックスピードスケート第4戦・5戦の日本代表に選出されるなど、世界でも注目の選手である。

スケート部スピード部門 SPEED SKATING



体育会会長挨拶

卓球部 鈴木優 (人科・4年)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！
神奈川大学体育会会長を務めております、卓球部所属の鈴木優と申します。

入学前には長く感じる大学の4年間は本当にあっという間に過ぎてしまいます。皆さんの中には、これから始まる新生活に期待を胸をふくらませている方も多くかと思いますが、そんな皆さんには、この4年間を有意義に過ごすために、一生の宝にするために、大学生活の中で1つでもいので本気で打ち込めるものに出会って欲しいです。それが勉強、部活動、サークル、アルバイト等どんなことでも良いと思います。

本気で打ち込んだことが4年後に結果として出てきて、またそれが大きな財産となります。しかし、数ある選択肢の中から選ぶことは簡単ではありません。何をしようかと悩んでいるうちに限られた時間はどんどん過ぎていきます。少しでも悩んでいる方の参考になればと思います。部活動について簡単に紹介させていただきます。
神奈川大学体育会には横浜・

湘南ひらつかキャンパス合わせて43団体が加盟し、1000人以上の体育会会員が活動しています。本学はとてスポーツに力を入れており、各部優秀な成績を残し、中には世界や全国で活躍している部活動もあります。

学部・学科の枠を超えた、高めあえる皆さんの仲間があなたを待っています。毎年、『大学まで来て部活はちよつと...』と考えている方が数多くいます。しかし、大学の部活動はこれまでとは異なり、自主性が必要とされます。

仲間と共に悩み、苦難を乗り越えることができます。私自身も毎日の練習を通して、多くの大切な仲間と出会ってきました。皆さんにもこれからの4年間、体育会で大切な仲間と最高の時間を過ごして頂きたいです。

入学後は多くの先輩から部活、サークル等の勧誘があります。自分の意思をしっかり持ち、自分に合ったところを選んでください。その上で体育会の部活動を選んで頂けたなら、幸いです。皆さんが最高の4年間を過ごすことを心より祈っています。

ユニバーシアードを振り返り、重弘選手は「運も味方した試合展開であったが、非常に良い経験にもなり自信に繋がった。2年後の北京オリンピックで一番高い位置の表彰台に立つためにも、良い点・悪い点をしっかりと精査し練習に打ち込みたい」と熱く語ってくれた。昨年度に引き続き、今年度も重弘選手から目が離せない。

重弘選手以外にもスケート部スピード部門は能力が非常に高く、第91回日本学生氷上競技選手権大会シヨートトラックスピードスケート競技(以下インカレ)にて男子が2年連続の総合優勝を果たしている。部として、今年度は、インカレ男子総合3連覇・女子上位入賞、ワールドカップ出場と高い志を掲げている。

阿部凌大選手(人科・3年)

「昨年度は、各団員が日本代表に選出やインカレで男子総合2連覇を達成するなど内容の良い1年間だった」と振り返る。新体制となり同部をまとめる立場となった阿部選手は「スピードスケートは個人競技の面が非常に大きい。団員の能力が非常に高い反面、チームとしてまとまりがなくなる事も少なくない。ただ得点の高いリレー種目にはチーム力が欠かせない為、自分自身が指針となれるよう活動していく」と語ってくれた。

チームの柱としての自覚を持ち、自分自身を更に成長させるために部と真摯に向き合っている姿が印象的であった。

最後に阿部選手は「スケート部スピード部門は神奈川大学の重点強化部に選出されている。多くの援助をいただき、非常に恵まれた環境下で練習に取り組んでいる。神大の名に恥じぬ活躍で結果を出し続けたい」と熱く語ってくれた。今年度も国内外で活躍する選手の姿が非常に楽しみである。



「箱根駅伝予選会では、ハーフマラソンを初めて走る選手も多い中、3位通過が出来たことは自信に繋がった。ただ箱根駅伝本大会では、怪我や調子の上がらない部員もおり、実力が出せず不完全燃焼となってしまった。得るものも多かったが、他大学との差を感じ、大変悔しい」

第95回東京箱根間往復大学駅伝競走(以下箱根駅伝)本大会に通算50回目の出場した陸上競技部駅伝チーム。総合16位と悔しい結果となったが、気持ちを切り替え、新チームの再スタートを切った。

再出発!! シード権獲得に向け



「今年こそ、箱根駅伝本大会でのシード権獲得」を達成したい。後輩の指針となるべく、我々4年生が結果を残し、チームを牽引していきたい」と熱く語ってくれた。

新体制を引っ張る安藤主将は「今年度は、練習以外の寮生活でもルールを変えていた同部。箱根駅伝本大会を始めとする各大会で、大きな経験を積めたのは間違いない。」

と話してく。昨年度は、大後栄治監督指導の下、キャリアを築くことに専念していた同部。箱根駅伝本大会を始めとする各大会で、大きな経験を積めたのは間違いない。

陸上競技部は箱根駅伝だけじゃない!

「今年こそ、箱根駅伝本大会でのシード権獲得」を達成したい。後輩の指針となるべく、我々4年生が結果を残し、チームを牽引していきたい」と熱く語ってくれた。



神奈川大学陸上競技部といえば、箱根駅伝やトラック競技を思い浮かべる方も多いだろう。しかし、活動はそれだけではなく、クロスカントリーにも挑戦している。



陸上競技部 EKIDEN TEAM



硬式野球部 BASEBALL

日本一の目標を胸に 今年も熱い戦いが始まる!!



「今年こそ、箱根駅伝本大会でのシード権獲得」を達成したい。後輩の指針となるべく、我々4年生が結果を残し、チームを牽引していきたい」と熱く語ってくれた。

富岡泰宏主将(経済・4年)は「チームを牽引してきた先輩が卒業し、課題も見えてきている。ただその穴を埋める為、選手それぞれがモチベーション高く練習に打ち込んでおり、チーム力も高まってきている。また大学日本一を目指すためには、新入部員の力も必要になってくる。先輩に遠慮せず全力でプレーしてもらおう。しっかりと意思疎通を図れる環境を作っていく」と話してくれた。練習風景をみても選手全員が声出しを行い、レギュラー入りを目指して切磋琢磨している姿が印象的であった。

平成30年度神奈川大学野球春季リーグ戦において優勝を挙げ、第67回全日本大学野球選手権大会への出場を果たし、更に同年の秋季リーグ戦においても優勝を成し遂げ、14年ぶりの春・秋連覇を達成した硬式野球部。今年度の目標はもちろん「大学日本一」を掲げている。

文化系だより vol.21

音楽未経験者でも大歓迎!! 神大唯一のビッグバンド・ジャズ!



COLLEGE SOUNDS ORCHESTRA

カレッジ・サウンズ・オーケストラ



「今年こそ、箱根駅伝本大会でのシード権獲得」を達成したい。後輩の指針となるべく、我々4年生が結果を残し、チームを牽引していきたい」と熱く語ってくれた。

新年度を迎え、メンバーの半数は楽器未経験で入部しているが、大会で演奏出来るレベルまで成長して卒業していく。メンバーが増えれば、学年バンドが組めるなど活動の幅が広がる。興味のある人は見学しに来てくれると嬉しい」と話す山口部長。楽器経験者も未経験者も一度「カレッジ・サウンズ・オーケストラ」で音を奏でてみてはいかがだろうか?

皆さまはビッグバンド・ジャズをご存知だろうか? ドラム・ギター・ベース・ピアノ・トランペット・トロンボーン・サクソフーンなど、様々な楽器で奏でる演奏ジャンルである。その音楽を学べる「カレッジ・サウンズ・オーケストラ」は、創部50年以上の歴史ある団体として日々活動している。「ビッグバンド・ジャズには指揮者がいない。だからこそ演奏中にお互いの音を聴きながら楽器を奏する事で、吹奏楽とは一味違う一体感のある音楽を創り上げていけると話す山口素子部長(経済・3年)。演奏構成・内容もメンバー全員でミーティングを行うことで、自分たちしか出来ない音を奏でられるのも非常に魅力的である。

同団体の1・2年生を主体としたジュニアバンドはステラジャムを目標に、3年生を主体としたレギュラーバンドはYAMANO BIG BAND JAZZ CONTESTを目標に、日々の練習に励んでいる。その他、自治体の依頼での演奏、他大学のジョイントコンサートなどにも積極的に活動している。山口部長は「課外活動も多いため、色んな人と交流することが出来る。他大学や友人同士でバンドを組むこともあるので、色んな音楽に触れて学べるのが勉強になると話してくれた。

